

2019年5月12日(日)

バードウォッチング入門②

～きらら浜の新緑と野鳥をたずねて～

春から夏にかけては多くの野鳥にとって繁殖期となり、園内でも子育てが盛んになります。新緑あふれる園内で野鳥を観察しながら、野鳥の子育ての特徴や種ごとの違いについて学びました。



毎年5月は日本鳥類保護連盟山口県支部と日本野鳥の会山口県支部との共催です。初めに山口県自然保護課の中村氏から挨拶。



続いて、日本野鳥の会山口県支部の鹿間氏と上原氏から挨拶。野外観察では、講師として案内していただきました。



ビジターセンターの前で双眼鏡の使い方を確認。バードウォッチングには必須の道具です。



ビジターセンターの側にあるキジバトの古巣を観察。木の枝を皿型に組んでつくるのが特徴です。



上空でヒバリがさえずっていました。草地の地面で営巣しますが、さえずるときは空高く飛びながら鳴きます。



園路のそばにあったホオジロの古巣を観察。草地や低い木の茂みに枯草を使って巣をつくります。



観察展望棟の屋根の上でホオジロがさえずっていました。この辺りで営巣するのでしょうか？



セッカがヨシ原上空を飛びながらさえずっていました。スズメよりも小さな鳥なので目で追いかけるのが大変でした。



テーマの鳥以外では、夏鳥のオオヨシキリを観察しました。営巣が本格的になるのはこれからで、6月のテーマになっています。



土路石川の河口ではシギ・チドリ類を観察しました。春と秋の渡りの時期になると、様々な種が飛来します。

古巣なども紹介しながら繁殖時期の鳥たちの様子を観察しました。繁殖期の鳥たちは警戒心がより強くなるので、観察の際は気をつけてください。